



一宮町長
馬淵 昌也

秋も深まってきましたが、新型コロナウイルスの勢いが増しています。11月24日現在、すでに1日の感染者数は2000人を越え、重症者数も過去最高のレベルに達しています。

一方で、一宮町は、4月までに3名の陽性の方が報告された後、本日（12月4日）まで新規陽性者が確認されていません。

現在、GOTOキャンペーンなどで、人の動きが激しく、当地域にも、来訪者が多くあります。その中で、私たちはどうすればよいでしょうか。

まず、今年の夏の経験が重要だと思います。4月5月の段階では、このウイルスは、かなり強い伝染力があるのではないかとされ、県境を越えた移動を抑制する方向をとりました。6月以降、それを解除しましたが、実は今年の夏は、海水浴場は開設しなかったにも関わらず、海岸に昨年の1.5倍の来訪者があり、お店も大繁盛だったと聞いています。ところが、おひとりも、町民の方の感染は報告されませんでした。

これはどういうことでしょうか。まず、屋外の活動では、あまり感染しないらしいということがわかります。では、お店では、なぜ感染しなかったの

でしょうか。感染防止を徹底して頂いたのだろうと思います。換気を確保し、マスクをつけ、手を消毒し、距離を保ち、大声で話さない、といった注意を怠らなかつたことから、感染が起らなかったのだと考えられます。この経験を踏まえた上で、感染防止の更なる徹底が、今後も必要になるでしょう。

しかし、冬になると、ウイルスの活力が増し、空気中での生存力も格段に上がるといわれています。そこで、大人数の集まりなどは、これまで通り、行わないのが正しいでしょう。そして、重要なのは、感染したかな、という時に、速やかにPCRを中核とする検査を受けて感染確認ができること、そして陽性の場合、しかるべき医療ケアが受けられること、この二つを確保することです。

現在、長生郡市ではPCR検査体制増強の方向に進んでいます。医療ケアの確保は、県の管轄となりますが、現状では、いまだ緊迫した状況には至っておりません。いずれにせよ、町としては、近隣市町村・県と協力しつつ、町民の皆さまの健康と命を守るために、全力を尽くして参りますので、よろしくお願い申し上げます。